公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 四季		
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動が固定化しないように職員会議の中で職員間で話し合いを持ちながら検討を行っている。	毎月の活動計画を作成する際には児童の意見やご家族の要望を取り入れながら作成を行っている。保護者用の意見箱のみでなく児童が意見を投函できるようにお願いボックスを設置し、可能な限り活動や利用の際の希望にこたえている。	児童の意見が中心となっているためご家族からも意見をいただき、より満足度の高いサービスの提供に努めていきたい。
2	児童が分かりやすいように事業所内の必要箇所にポップを掲示して視覚的に児童への啓発やルール、気を付けてほしいことを伝えている。	季節ごとに感染症についての掲示や事業所内で守ってほしいルール等について必要イラストは伝わりやすいか等職員間で検討しながら掲示するようにしている。	児童一人一人の特性や学年に応じて適切に作成を行いたい。
3	児童が通ってくることを楽しみにしてくれており、安心できる場所となっている。	児童が安心できるように発言や希望には肯定的に対応し、話を聞くようにしている。職員は児発管を含め男性4名女性4名となり、同性介助を基本として支援を行っています。	専門性について「わからない」「どちらともいえない」といった意見をいただいているため、専門性が向上できるように研修に参加したり、日々の支援の中で児童の小さな変化に気づき、職員間で共有できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の評価表の中に専門性について「わからない」「どちらともいえない」といった意見があった。看護師やPT、OT、ST等の専門職がいない。	看護師やPT、OT、ST等の専門職については採用の予定はない。環境の構造化や児童がわかりやすい説明等については心掛けてはいるが保護者に見ていただく機会が少ない。	保育士や社会福祉士、強度行動障害支援者養成研修の修了者や大分県発達障がい者支援専門員が在籍しているため今後も研修や職員間の情報共有、必要時には外部の関係機関と相談しながらより良いサービスの提供に努めていきたい。
2	保護者会の実施ができていない。	保護者会の実施ができていなかった。	来年度は保護者会を開催し、その中で保護者からの意見や四季での支援の方針、マニュアル等について説明を行って生きたい。
3	地域(事業所周辺)での地域との交流ができていない。	営業が月曜日から金曜日までの平日であるため、土日に開催される地域での活動には参加することが難しい。	児童館や地域の公園へ行く機会を設けている。平日で参加ができる地域の行事があれば参加していきたい。